

川高サイエンス探究

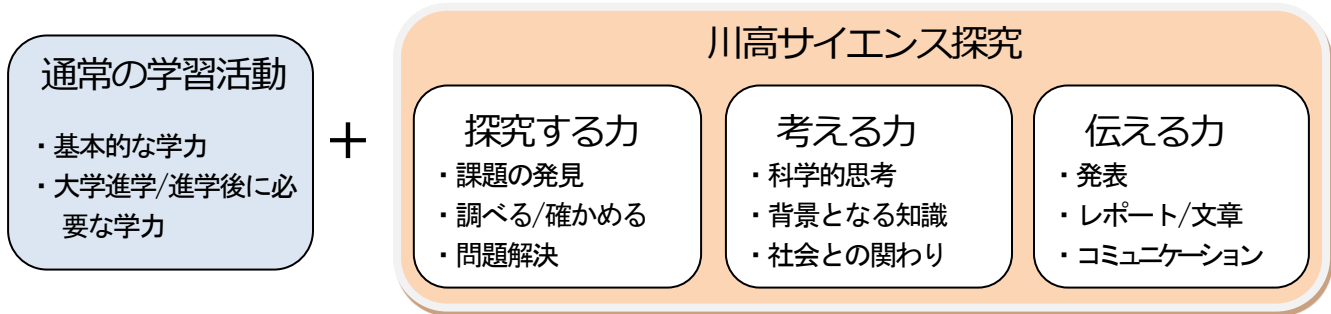
SSHから川越高校独自のチャレンジへ。
平成31年度（2019年度）実施3年目

1 川高サイエンス探究事業

新学習指導要領・新入試に対応する事業です。

科学・科学技術に関心がある生徒を中心に**研究能力や表現能力・発表能力を高めるプログラム**を全校規模で実施します。

通常の学習活動に併せて取り組み、**国際的に活躍できる科学系人材の育成**を目指します。



2 プログラム概要

① サイエンス探究 I ② サイエンス探究 II

「総合的な探究の時間」を利用し、年間を通じて探究活動を行う授業です。

②最先端科学講座

大学や研究機関で研究者から最先端の科学を学び、科学への関心と理解を深めます。

③探究スキルアップ講座

探究活動の進め方や実験技能、プレゼンテーションの方法など体験的に学習します。

④フィールド探究講座

野外調査などを通して体験的に探究方法を学びます。探究の題材や試料、データを収集します。

⑤地域交流

冬休み科学教室や交流会など、他の高校や小中学校、地域の方とのつながりから、科学を学びます。

⑥発表会・コンテスト

研究発表、科学コンテストを通じて、研究能力、伝える力を身につけます。内外各種発表会、学会、各コンテストに参加。

3 新しい取り組みに生きるSSH

SSHのつながりを生かします。本校は2006年から11年間文部科学省からSSHの指定を受けてきました。ノーベル物理学賞受賞 **梶田 隆章** 先生（本校OB）が川高サイエンス探究事業アドバイザーです。

SSHでの連携機関一覧（一部）

<大学、研究機関> 東京大学、埼玉大学、理化学研究所、高エネルギー加速器研究機構、早稲田大学、慶應大学、国立天文台（ほか）

<高校、小中学校> 川越女子高校、川越南高校、春日部高校、熊谷高校、松山高校、都立戸山高校、川越第一小、初雁中（ほか）

SSHのプログラムやメソッドを生かします

サイエンス探究 I・II、生徒研究発表会、探究入門、臨海実習、天文学/野外実習、東大山下研素粒子実験、電子顕微鏡実習、プレゼンテーション実習、最新宇宙論（ほか）

科学系部活動の活発な取り組みを継続

県下でも数少ない物理部/化学部/生物部/地学部がそろった川越高校。科学系部活動はSSH活動の核となってきました。ロボットや電波天文学など、それぞれ特色ある取り組みを行っています。国際地学オリンピック世界大会、物理オリンピック全国大会等参加。ロボカップジュニア世界大会出場。科学展等の発表会、科学コンテストで全国大会出場多数。

4 埼玉県版SSH拠点校に指定

「科学技術立県を支える次世代人材育成プロジェクト」物理、生物拠点校

2017年より始まった、埼玉県主催の事業・埼玉県版SSHです。様々な研究機関との連携、海外研修、研究活動、ハイレベルな科学授業を通し、国際科学コンテストでの全国、世界トップレベルの成果を出す人材育成事業です。

本校は物理、生物分野の拠点校に指定され、本校を会場校として生徒の育成を担います。